

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		建築管理事務費[建築管理事務]																																																											
予算科目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	事業番号	5																																																		
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの																																																											
担当部署・課長名		建築 課 建築 係				課長名		中橋 健																																																					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2																																																			
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書(ページ)		122																																																			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																							
	課の職員					8人(学校営繕職員2名を除く)																																																							
	→																																																												
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																							
	円滑に事務が来ている					課の職員からの要望・苦情																																																							
	→																																																												
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																							
	管理事務に必要な消耗品の購入、営繕電算機器賃借等					管理事務に必要な費用(需用費、賃借料等)の総額																																																							
	→																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度目標</th> <th>令和4年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>人</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>円</td> <td>2,591,549</td> <td>2,662,293</td> <td>2,910,372</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	対象指標	①の数値	人	8	8	8		成果指標	②の数値	人	0	0	0		目 標	②の目標値	%	0	0	0		目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)							活動指標	③の数値	円	2,591,549	2,662,293	2,910,372				
	単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標																																																								
		平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標																																																							
対象指標	①の数値	人	8	8	8																																																								
成果指標	②の数値	人	0	0	0																																																								
目 標	②の目標値	%	0	0	0																																																								
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)																																																													
活動指標	③の数値	円	2,591,549	2,662,293	2,910,372																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業費(実績)</th> <th>円</th> <th>2,591,549</th> <th>2,662,293</th> <th>2,910,372</th> <th rowspan="7">※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">財源</td> <td>一般財源</td> <td>円</td> <td>2,591,549</td> <td>2,662,293</td> <td>2,910,372</td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(うち受益者負担)</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費(目安)</td> <td>所要人数(再任用以外)</td> <td>人</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>所要人数(再任用)</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用以外)</td> <td>円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>838,000</td> </tr> <tr> <td>職員人件費(再任用)</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費+人件費</td> <td>円</td> <td>2,591,549</td> <td>2,662,293</td> <td>3,748,372</td> </tr> </tbody> </table>												事業費(実績)		円	2,591,549	2,662,293	2,910,372	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	財源	一般財源	円	2,591,549	2,662,293	2,910,372	特定財源	円				(うち受益者負担)	円				人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.1	所要人数(再任用)	人				職員人件費(再任用以外)	円	0	0	838,000	職員人件費(再任用)	円				事業費+人件費		円	2,591,549	2,662,293	3,748,372
事業費(実績)		円	2,591,549	2,662,293	2,910,372	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																							
財源	一般財源	円	2,591,549	2,662,293	2,910,372																																																								
	特定財源	円																																																											
	(うち受益者負担)	円																																																											
人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.0	0.1																																																								
	所要人数(再任用)	人																																																											
	職員人件費(再任用以外)	円	0	0	838,000																																																								
	職員人件費(再任用)	円																																																											
事業費+人件費		円	2,591,549	2,662,293	3,748,372																																																								
4 課題 今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 今後更なる経費削減の検討が求められる。																																																													
5 今後の方向性 仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 円滑に事務を遂行し、計画的に予算執行していく。																																																													